



笹中だより

伊丹市立笹原中学校学校通信第10号

平成29年12月1日

編集責任者 校長 太田洋子

笹中生徒会一丸となって居心地のよい学校づくりを目指そう！

はやいもので、今日から12月です。12月は生徒会が中心となって、笹原中学校が全校生徒にとって居心地がよく、過ごしやすい場所になるように取り組みます。

11月に全生徒を対象に「いじめアンケート」を行いました。ほとんどの人は、気持ちよく学校生活を送れているようです。でも、中には「〇〇さんが、いやがることをさせている」「自分が傷つくことを言われている」「クラスの中で暴言を言う人がいる」「学校に持って来てはいけない物を持ってきている人がいます」等を書いてくれた人がいました。

よくいじめの四層構造と言われます。

いじめの四層構造 (1986 森田)

一つ目は、いじめの「被害者」です。二つ目は「加害者」です。この二つは直接の当事者です。

三つ目はいじめをはやしたてる「観衆」のことです。そして、四つ目は見て見ぬふりをする「傍観者」です。

「傍観者」の層には、「仲裁者」(および通報者)などが含まれ、いじめを抑止することもあります。

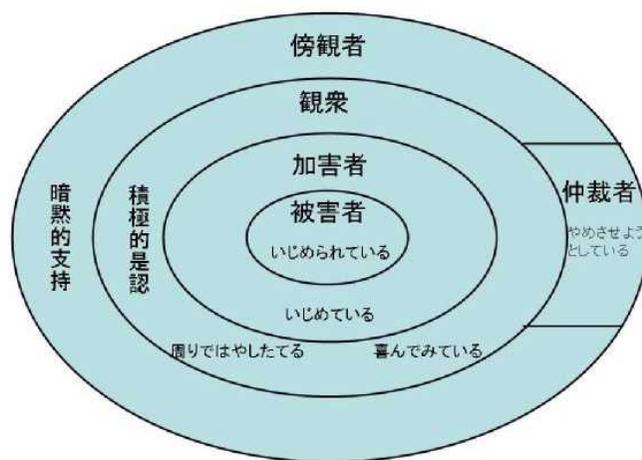
いじめは、いじめる人といじめられる人との個人の関係から生まれると思いがちですが、本当にそうでしょうか？

私は、個人の関係だけではないと思っています。梅雨時のカビは、清潔で乾燥したところには生まれませんが暗くしめった所にはえやすくなります。

いじめも同じだと思います。学級や部活動での人間関係がよく、みんなが楽しく過ごしている環境では起こりにくいと思います。つまり、いじめは環境に左右されるのです。そして、いじめは起こりやすいクラスと起こりにくいクラスに分かれます。

何か、トラブルがあっても、それを止める人がいるクラス。もし、いやな思いをしている人がいれば、勇気を持ってそのことを先生や大人に言える人のいるクラスは、もしいじめが起こっても、クラスみんなでそれを乗り越えることができます。

12月の仲間作り週間はクラスみんなで取り組み、みんなが気持ちよく過ごせるいじめの起こらない学級づくりを目指してください。



1年生はピッコロわくわくステージに行きました

笹中としては始めてピッコロわくわくステージに参加し、演劇を鑑賞しました。

題名は、「赤ずきんちゃんの森の狼たちのクリスマス」です。本物の演劇は見るのが初めての人も多く、一年生の皆さんは集中して鑑賞していました。

その後、神戸市にある「人と防災未来センター」で、阪神淡路大震災について学習しました。震災後22年が過ぎ、徐々にその記憶が薄らいでいきますが、忘れてはいけないと思います。



2年生校外学習では私立高校を訪問させていただきました

これまでは郊外に出てオリエンテーリングをするものでしたが、今年の校外学習は少し違います。阪神間の9つの私立高等学校にお願いして、学校を訪問させていただきました。

訪問校：

- 雲雀丘学園高等学校
- 仁川学院高等学校
- 関西学院高等部
- 武庫川女子高等学校
- 夙川学院高等学校
- 神戸学院高等学校
- 報徳学園高等学校
- 甲子園学院高等学校
- 芦屋学園高等学校



2年生の生徒たちは「〇〇科はどんなことをするのか?」「卒業後はどんな進路についていますか?」と積極的に質問していました。今後は調べた内容をまとめていきます。

高校訪問後は、神戸市にある「神戸どうぶつ王国」で班別活動を行いました。室内型の動物園で、ゆったりとしたスペースで動物たちとのふれあいを楽しむことができました。3学期には修学旅行に向けた取り組みが始まります。

12月の生徒会の取り組み

- ①12月4日(月)～13日(水) 仲間作り週間 「いいね」カードの作成
- ②12月11日(月)～15日(金) 2分前着席見直し週間
- ③12月18日(月)～22日(金) 掃除徹底週間 無言清掃の徹底

朝の登校風景から

だんだん寒くなり、朝起きることがつらくなる季節になりました。ほとんどの生徒たちは「おはようございます」と挨拶をしながら元気に校門をくぐります。でも、中にはぎりぎりで校歌の演奏とともに駆け込みで校門をくぐる生徒もいます。学校では8時15分のチャイムまでには、校門に入り、その日の準備をするように指導しています。ご家庭でもご協力くださいますようお願いいたします。